

「平成 22 年度 女子中高生夏の学校 2010～科学・技術者のたまごたちへ～」企画委員会からのお願い

毎年、夏の学校に関して多くのご尽力を賜り、有り難うございます。

下記の要領により、本年も女子中高生夏の学校を行います。（詳細は、添付業務計画書をご覧ください。）

- 1 主 催 独立行政法人国立女性教育会館
日本学術会議「科学と社会委員会科学力増進分科会」
- 2 日 時 平成 22 年 8 月 12 日（木）～8 月 14 日（土）
- 3 会 場 （独）国立女性教育会館
（〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728 番地）

つきましては、この夏の学校を開催するにあたり、以下 3 件につきまして、ご希望をお伺い致したく存じます。

依頼項目	締め切り	申込先
1) 協賛等依頼調査	6 月 30 日	国立女性教育会館 佐國 sakuni@nwec.jp
2) 実験・実習申し込み 要旨・その他	5 月 28 日 6 月 30 日	国立女性教育会館 佐國 sakuni@nwec.jp 日本化学会 森 義仁、土木学会 岡村 美好 後日、詳しくお知らせ致します。
3) ポスター・キャリア相談ブース参加申し込み	7 月 13 日	電子通信情報学会 清水郁子 2010natsuposter@gmail.com

1) 協賛等依頼調査

本年度も学会・大学・研究機関・企業の団体様に共催、協賛、後援をお願い申し上げます。下記の調査書にご記入の上、6 月 30 日までに国立女性教育会館 佐國 sakuni@nwec.jp にお送り下さい。

共催、協賛、後援等の申請書が必要な団体様には、後日、申請書をお送り致します。また、都合により調査書提出が締め切り後となります場合は、佐國までご連絡下さい。

平成22年度 女子中高生夏の学校2010～科学・技術者のたまごたちへ～ 協賛等依頼調査

団体名：
代表者名：
協賛ではない場合お書き下さい。
依頼に関するご担当者名：
ご担当者メールアドレス：
依頼先あて先：
依頼先住所（〒から）

* なお、協賛等の手続きにおける分担金等のご負担は不要です。

2) 実験・実習 申し込み

夏の学校の 2 日目 (8 月 13 日金曜日) にサイエンスアドベンチャー I というプログラムを実施し、その中で、各団体様に実験・実習 (9:00～12:30 準備から片付けまで) をお願いしたいと考えております。

これは、女子中高生が大学・研究所での科学・技術の一端ふれて科学に興味をもち、将来の進路選択の助けとなることを目的としています。

本趣旨をご理解頂ける団体様の参加をお待ちしております。依頼状が必要な場合は、別途依頼状等をお出し致します。なお、大学・企業関係者の皆様におかれましては、実験・実習中に特定大学・企業への誘致・宣伝とならないように、特段のご配慮をお願い致します。

実験・実習場所は、研修室 (ゼミ室) となっておりますので、水道・排水・ガスなどの設備はなく、通常使用の電気コンセント (数カ所) で、お願いをいたします。長机、いす、黒板は使用できます。(水道・排水は洗面所使用となりますので、排水には十分の注意をお願いいたします。場合によっては、排水はお持ち帰り下さい。)

実験・実習担当者の方は、女子中高生夏の学校の実行委員としてご登録いただき、共に活動させていただく形にしたいと思います。また、お時間の許す方は、出来るだけ前泊、あるいは当日泊して頂き、企画の時間以外でも、女子中高生との交流を行って頂けると幸いです。

実験・実習に関わる費用として、消耗品等については 1 実験 15,000 円までは国立女性教育会館から補助をさせていただきます。また、実験・実習で使用する器具等の運搬に関しては、行き・帰りのどちらか 1 回分で 1 個口分の宅配金額を補助いたします。実験・実習に関わる費用・担当者の交通費・宿泊費 (1 泊 1,000 円) は、自己負担 (各団体負担) でお願いを致しております。ご了承ください。

ご参加いただける団体は、下記申込書にご記入の上、5 月 28 日までに国立女性教育会館 佐國に申し込みをお願い致します。また、研修室の数に制限がありますので、ポスターに変更させて頂く場合もございますことを、ご了承願います。要旨・準備などの詳細は、後日、実験・実習担当委員よりご連絡を致します。

宛て先: sakuni@nwec.jp 件名: Subject:夏学実験・実習申し込み

万が一、3 日以内に返信がない場合には、お手数ですが再送して頂きたいようお願い申し上げます。

平成 22 年度 女子中高生夏の学校 2010～科学・技術者のたまごたちへ～
実験・実習の希望調査

団体名:		
代表者名:		
実験の希望の有無	有り	無し
★以下はわかる範囲でお書き下さい		
実験・実習の演題		
実験のご担当者名:		
ご担当者メールアドレス:	—	
依頼先あて先:		
依頼先住所(〒から)		

※ 実験・実習数は参加者数や場所の関係上、数が限られておりますので、ポスターセッションにお願いすることもあります。ご了承下さい。

3) ポスター・キャリア相談ブース参加申し込み

夏の学校の2日目(8月13日金曜日)にサイエンスアドベンチャーⅡというプログラムを実施し、その中で、各学協会および関連企業や関連大学等にポスターセッション・キャリア相談ブース(9:00-18:00 準備から片付けまで)をお願いしたいと考えております。

これは、女子中高生に理系の幅広い研究分野の魅力に触れてもらうと同時に、実際に企業や大学、研究機関等で働く科学者や技術者と交流することで、将来のキャリアイメージを掴んでもらうための企画の一つです。ブースのスペース(1件当たり、高さ約160cm 幅約110cmのパネル2枚(A0ポスター2枚に相当)を割り当てる予定。奥行きは約2m使用可能。必要に応じてテーブル(幅約1.5m)2台および椅子の使用可能。)にて、担当する研究者や技術者に研究分野の紹介や女子中高生からのキャリア相談にのって頂きます。

スペースの許す範囲で、デモ実験などをお願い致します。

本趣旨をご理解頂ける学協会や大学、企業の方の参加をお待ちしております。また、各学協会からも、関連企業の方にお声掛けをして頂けると幸いです。別途依頼状等をお出し致します。

なお、繰り返しになりますが、本企画は多種多様な研究分野の研究者・技術者の紹介やキャリアイメージの提示を主目的としておりますので、大学・企業関係者の皆様におかれましては、特定大学・企業への誘致・宣伝とならないように、展示や説明内容等に特段のご配慮をお願い致します。

企画当日はブース1つにつき最低1名が現場でご説明をいただく形をお願い致します。なお、特に差支えが無ければ、ポスターセッション・キャリア相談にご参加いただく、出展担当者の方(必ずしも説明者と同一でなくても結構です)にも、女子中高生夏の学校の実行委員としてご登録いただき、共に活動させていただく形にしたいと思います。

ポスターセッションに関する費用(例えば、運搬費、氷等の消耗品、ポスターを貼るセロハンテープなど)・担当者の交通費・宿泊費(1泊1,000円)については、申し訳ありませんが、すべて自己負担(各団体負担)でお願いを致しております。ご了承いただきますようお願いいたします。

また、お時間の許す方は、出来るだけ前泊、あるいは当日泊して頂き、企画の時間以外でも、女子中高生との交流を行って頂けると幸いです。

加えて、10:00-12:00までは、ポスターセッション・キャリア相談のエリアを夏の学校の参加者以外にも開放して、幅広い方々に各研究分野の紹介やキャリアパスの状況等を見学して頂く予定となっております。

ご参加いただける団体の方は、下記申込書にご記入の上、7月13日までに清水郁子(電子通信情報学会)に申し込みを御願い致します。

宛て先 : 2010natsuposter@gmail.com

件名 : Subject:夏学ポスター申し込み

万が一、3日以内に返信がない場合には、お手数ですが再送して頂きたいお願い申し上げます。

平成 22 年度 女子中高生夏の学校 2010～科学・技術者のたまごたちへ～

ポスター・キャリア相談ブースの申し込み

学協会名：

団体名（企業・大学等の場合）：

推薦者（学協会または実行委員）（企業大学等の場合）：

ポスターのテーマ（仮題の場合は、締切までに最終版をお送り下さい。）：

ポスターの概要（200 字以内：当日配布資料に掲載致します）：

出展担当者（ポスター出展に関して連絡等に責任をお持ちいただける方の所属・氏名・連絡先・メールアドレス）：

説明担当者（当日説明を行う方の所属・氏名・連絡先・メールアドレス）：

使用を希望する設備（電源等）：